

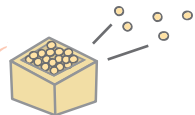


5病棟の生活のひとコマ 70

2022年最初の療育活動は初詣でした。お賽銭箱にお金を入れて、大きな鳥居の前で参拝を行いました。実はこのお賽銭は、すべて患者さんの手作りなんです。お賽銭の金額や色、デザインはさまざまで、皆さんの個性が溢れた素敵なお賽銭になりました。手を合わせて参拝を行ったあとは、おみくじで今年の運勢を占い。新年らしい療育活動を行うことができました。これからも5病棟では、患者さんに季節を感じていただけるような楽しい療育活動をたくさん行っていきます。(児童指導員 森 日奈子)



やまばとギャラリー information



今月の作品は「鬼の面」です。ティッシュの空き箱に角をつけて、立体的で迫力のある作品ができあがりました。いろいろな顔の鬼がいて、見ただけで楽しくなりますよ。ぜひやまばとギャラリーでご覧ください。来月の作品もお楽しみに！(児童指導員 森 日奈子)



新任

異動のごあいさつ



●小児科 高祖 惇先生

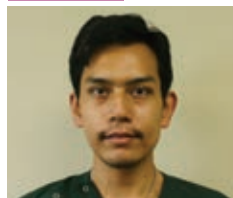
医師5年目 小児科専攻医3年目の高祖惇と申します。1月から半年間三重病院に配属となりました。滋賀県出身で三重大学に入学し、在学中は空手部に所属しておりました。卒業後は鈴鹿中央総合病院で初期研修の後、小児科専攻医となり、県立総合医療センターで1年間、大学病院で1年半研修を行い現在に至ります。未熟ではありますが、子供たちやご家族のお役に立てるように努めて参りますので、ご指導のほどよろしくお願ひします。(2022年1月16日付採用)



●小児科 牧野 宏俊先生

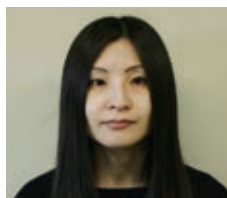
はじめまして。1月16日より赴任いたしました、牧野宏俊と申します。医師5年目の、小児科専攻医です。元々津の出身であり、学生や研修医のころにも当院で研修させていただいており、三重病院は馴染みの深い病院です。赴任期間中は、精一杯努力してまいりたいと思ひます。また、患者さんに寄り添える診療を心がけていきたいと思ひます。約半年間の短い期間ではございますが、よろしくお願ひ申し上げます。(2022年1月16日付採用)

離任



●小児科 青木 優介先生

こんにちは。小児科の青木優介です。1月15日をもって当院を退任することになりました。半年間と短い間ではありましたが、患者様やそのご家族、病院スタッフを中心に様々な方と関わることで、充実した、学ぶ所の多い期間を過ごすことができました。当院での経験を活かし、小児科医として名実共に皆に頼っていただけるような人間になれるよう頑張っていく所存であります。本当にありがとうございました。(2022年1月15日付退職)



●小児科 宮松 弥生先生

1月より赴任しました、宮松弥生です。私は現在、総合診療科の専攻医として研修を行っています。総合診療医として、年齢や臓器、病院の規模にとらわれず、その地域のニーズに合った医療を提供することを目指しており、研修プログラムの一環として三重病院で小児科研修をさせていただくことになりました。至らぬ点も多いかと思ひますが、3か月間しっかり学んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。(2022年1月16日付採用)



●小児科 水谷 健佑先生

小児科の水谷健佑です。この度、三重大学医学部附属病院に異動となります。半年間という短い期間ではありましたが、アレルギー疾患をはじめとし

て多くを学ばせていただきました。入院された患者様のみならず、初診外来や退院後のフォローアップの外来でも多くの患者様を診療する経験をさせていただき、小児科医としてまた一回り成長できたと実感しております。有り難うございました。(2022年1月15日付退職)



●小児科 加藤 伊知朗先生

この度三重大学病院に転勤することになりました加藤伊知朗です。わずか6ヶ月という短い期間でしたが、本当に濃密な毎日でした。先生方が身近にいてくださり、診療にあたる時には必ずアドバイスを頂けていたこともあり、困難なことも頑張れました。医療スタッフの方々にも優しく支えていただき本当にお世話になりました。ありがとうございました。(2022年1月15日付退職)



●小児科 杉浦 勝美先生

2016年7月から約5年半三重病院で勤務させていただきました。一般小児科外来、小児科急性期病棟、重症心身障害児(者)病棟、渡航ワクチン外来等を主に担当させていただきました。多くの患者さん、多くの指導医の先生から多くのことを学ばせていただきました。小児感染症をサブスペシャリティとして勉強させていただきました。感染症を勉強したい全国の先生方、ぜひ三重病院へおこしください。(2022年1月15日付退職)